



すぎ 杉っ子

令和6年6月4日 発行
学校だより 第3号
射水市立小杉小学校
TEL 0766-55-1055
E-mail kosugi-e@imizu.ed.jp

一人一人が目当てをもって臨んだ 杉っ子スポーツフェスタ

校長 杉 高 浩



児童玄関前の掲示より

今年も児童玄関前に6年生一人一人の目当てが掲示され、それを見た、1～5年生の児童も、目当てをもって練習や本番に取り組みました。

スポーツフェスタ当日は暑すぎず、寒すぎず爽やかで運動するには絶好の天候となりました。開会式の元気な選手宣誓で始まり、各色団の「杉っ子ウェーブ」では、5、6年生を中心に1年生から6年生までが一つになってすてきな演技が披露されました。

個走の競技の後、3、4年生の「巻き起こせ 杉っ子旋風!」、1、2年生の「おどって、なげて、レッツスマイル」、そして5、6年生の「全力!綱引き つながってGO!」の団体競技が行われ、どの競技も総合優勝を目指して、熱い戦いが繰り広げられました。

スポーツフェスタの最後は3、4年生による団体演技「力強く舞え!杉っ子ソーラン」です。今年も4年生から3年生に踊りが受け継がれ、迫力あるかけ声とダイナミックな演技がこのスポーツフェスタで披露されました。

今年度の総合優勝は青団、杉っ子ウェーブのグランプリは赤団でした。スローガンにあるよう、一人一人の笑顔が輝き、そして団結力をフルに発揮した素晴らしいスポーツフェスタとなりました。ご協力いただきました、PTA 役員の皆様、そして子供たちの競技や演技に心からの声援を送っていただきました保護者・地域の方々に改めて感謝を申し上げます。

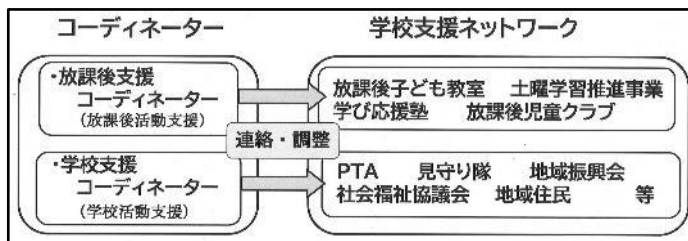


コミュニティ・スクールが スタートしました Part.2



先月号の学校だよりでは「学校運営協議会」を中心にコミュニティ・スクールについてお伝えしました。今回は「学校支援ネットワーク」と「学校支援コーディネーター」についてお伝えします。

まず「学校支援ネットワーク」についてですが、右図のように、大きく分けると放課後活動支援と学校活動支援に分けることができます。放課後活動支援では、射水市にはすでに「放課後子ども教室」「土曜学習推進事業」「学び応援塾」「放課後児童クラブ」があり、この4つの事業はそのまま継続します。(本校では「土曜学習推進事業」は行っていません。)



今回力を入れたのが「学校活動支援」です。地域の方から「学校支援コーディネーター」を新たに任用し、PTAや地域の団体との連絡調整を行っていただいています。具体的な学校活動支援例としては、①学習支援として、作業や実習を伴う授業や総合的な学習の補助、②行事支援として校外活動、運動会や学習発表会の補助、③校務支援として会計事務、給食、清掃等の補助です。学校にはすでに、様々な協力者や協力団体などが存在します。そのネットワークの輪を広げていくためにも、地域住民、保護者、地域団体等より、支援を行う協力者を募集し、学校、子供の応援団として、様々なボランティアを担っていただきたいと思います。先月にもあんしんメールや紙面にて「学校応援ボランティア」の募集をいたしました。まだまだ登録は少ないので、以下のアドレスまたは右のQRコードから登録をお願いします。

<https://forms.office.com/r/9R3YLZY3p>

小杉小学校 令和6年度「学校応援ボランティア」の募集について

次に新たに任用した「学校支援コーディネーター」についてですが、コミュニティ・スクールの推進役として、学校運営協議会の企画・運営、学校支援ネットワークの企画、連絡・調整、協力者の募集等を担っていただく方です。本校では、主任児童委員の島木洋子さんに委嘱しております。

コミュニティ・スクールの導入により、様々な効果が期待されます。子供たちの居場所、活躍の場が増え、社会性が育ち、生きる力が身につくことが期待できます。保護者同士や地域の方とのつながりが強まり、困ったときにも相談できます。学校としても教員の働き方改革、授業の充実、学力の向上も期待できます。子供、学校、家庭・地域が輝くコミュニティ・スクールを目指していきたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

田植え体験をしました

5月21日(火)にJAいみず野、ファーム戸破、学校運営協議会のご協力の下、5年生が田植え体験を行いました。子供たちは3~5本の苗をとり、丁寧に植えていました。学校運営協議会の川腰会長さんも子供たちと一緒に田んぼに入って苗を植えてくださいました。

